

2022. 6 月のブルーベリー農園その 1

気温が高くなってきた。安芸区の自宅から東広島市豊栄町のブルーベリー農園に週末に通っているが、5月は福富町の「湖畔の里福富」で

安芸の郷がブルーベリーの苗木の販売をしているが、5月は一年中で一番よく売れる季節なので毎週立ち寄って苗木の補充も行いながら農作業を続ける。ブルーベリーの実が色づいた木が1本あった。初物を数粒頂く。



6月2日(木)

ブルーベリー剪定の最後の追い込みなので一日休みを取って農園へ。早朝出発して朝7時前についた。朝の農園周辺の風景から

① 田んぼ



② 農園に着いたらキジと出会う。車の中からそっと撮影

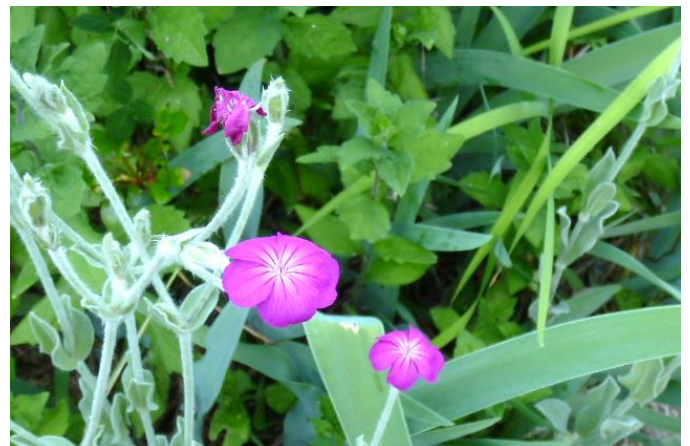


③ 里山東側の農園から眺め。薄く朝もやがかかっている。ホトトギスの鳴き声が響く。

④ そのそばの木立の中のサンショ。実が少しずつ大きくなってきた。



一人、昼ごはんの支度。農園の畑のスナップ、キヌサヤエンドウ豆をもいでくる。餅入りのうどんにするので新玉ねぎも入れて、みそ仕立てで食べたが、野菜が畑にあればとりあえずのおかずのきっかけになると納得。



6月4日(土) 農園の花壇から

① フランネルソウ。毎年顔を出してくれる。



② バラ。親指と人差し指を丸めたくらいの大きさの花。ミミエデンという品種。



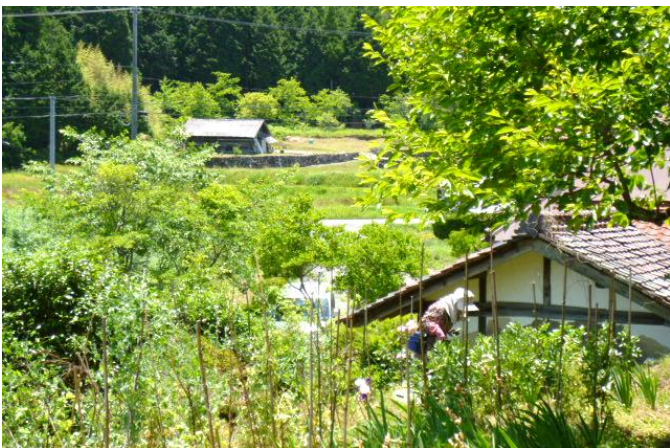
里山の西側のブルーベリー園から。品種名は不明だが早生のブルーベリーが1本だけもう色づいている。おいしかった。



③ 庭に咲いたユッカの花。大きい。随分久しぶりに咲いた。



同じ場所の剪定をつづける。枝が倒れないように竹を立てて支柱にして、麻の紐でくくったりと時間がかかっている。でも来年はこの作業が少なくなるので楽になるはずだ。あと1列10本ほどでおしまい。5日の日曜日は雨なので農園には行かなかった。



畑から。ソラマメを収穫。ついでに周辺の草取り。

2022年6月8日
社会福祉法人安芸の郷
理事長 遊川和良

《2022年6月8日の「新・ヒロシマの心を世界に」のブログに掲載したものに写真を加えて編集しなおしています》

